



利き手での食事動作を獲得できました。

今年の1月に脳梗塞を発症され入院加療を経て、退院後よりすこやか生野通所リハビリテーションを利用開始されました。利き腕である左上肢と左下肢の麻痺により食事動作や外出動作に課題がみられました。

手内筋活動改善のための作業療法と全身活動性向上のためのパワーリハビリとPウォークを中心に実施し、左手の握力は3ヶ月で7kgの改善がみられ、左手での箸を使用した食事動作が可能となりました。また階段や地下鉄を利用しての外出も増え、活動範囲も拡大しています。

これまで意識して麻痺側を使う努力をされていましたが、現在では自然に左手を使えるようになったと改善を実感されています。

今後は独歩での安全な屋外歩行の獲得を目標にサポートしていきます。



パワーリハ歴：3か月 M様

医療法人アエバ会
介護老人保健施設

すこやか生野

- 入所・短期入所
TEL：06-6717-8002（代表）
- 通所リハビリテーション
TEL：06-6717-8003（直通）
- 居宅介護支援事業所
TEL：06-6717-8033（直通）

<https://www.aeba.or.jp>



アエバ会

検索

無料見学体験会随時実施中！

お気軽にお問い合わせください。



すこやか生野での取り組み

すこやか生野では、自立支援介護を主体に各専門職による様々な取り組みを行っています。

日々の取り組みを職員の資質向上に活かすために、定期的に事例検討会を開催し、多職種間で各職種が取り組んだ内容の共有を行っています。

利用者様の状態回復・機能向上に向けて自立支援ケアを行い定期的に事例検討会にて発表を行っています。今回は介護福祉士による、排泄・水分・活動量に着目した入所者様の事例発表を行いました。事例検討会を通してケアの質の向上に努めます。



作業療法士による多職種に向けた勉強会を行いました。すこやか生野では作業療法士も加わり多職種と連携し利用者様への支援を行っていきます。



「第33回 全国介護老人保健施設大会 兵庫」の発表を終えて

令和4年9月22日と23日に兵庫県で行われた全老健大会にて演題発表を行いました。「通所リハビリにおける介護福祉士による自立支援への取り組み」と題し、すこやか通所リハビリでの、ご利用者様の生活課題とニーズを抽出し、他職種での目的を共有したプログラムの検討と実施を行い、生活行為の獲得から活動範囲の拡大までの成果を報告しました。

大会では全国の老健施設から様々な視点での発表があり刺激を受けるとともに、今後も老健施設すこやか生野として、医療と介護、そしてリハビリテーションに積極的に取り組んでいきたいと考えます。



アエバ会グループのご案内

アエバ外科病院リハビリテーション科

当科では骨折などの整形外科患者様を中心に急性期のリハビリテーション、そして身体機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を目的とした回復期のリハビリテーションを行っています。また低出力パルス超音波により、骨癒合を促進する超音波骨折治療器を3台導入しており、理学療法と伴に患者様の早期回復に力を入れています。



☎ (代表) 06-6715-0771 (直通) 06-6711-7100 担当: 高亀 (こうがめ)